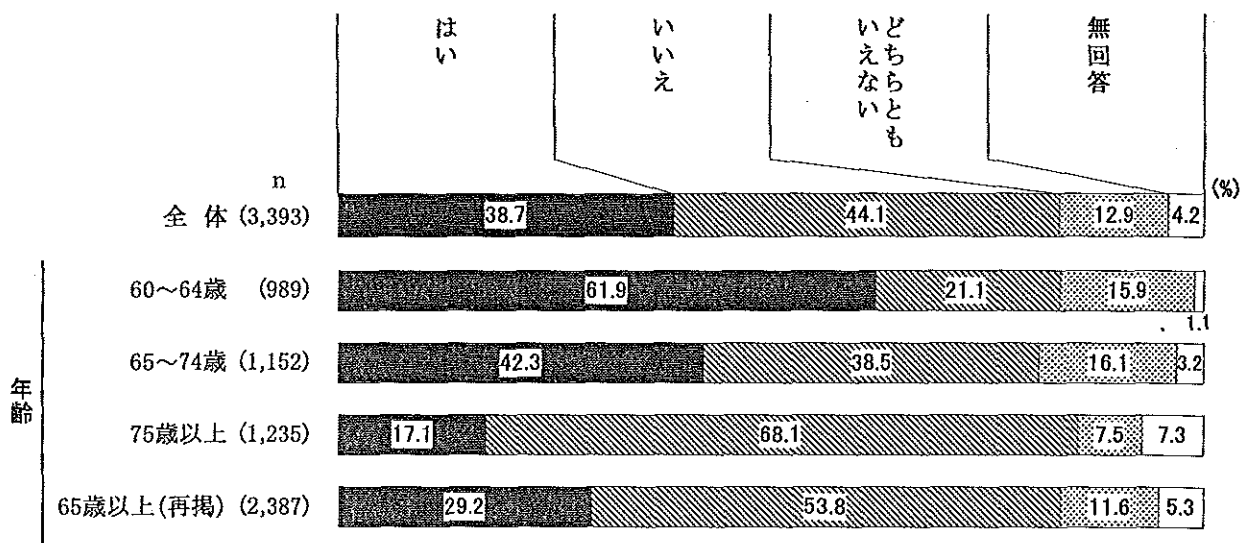


【高齢者の生活実態と意識に関する調査】調査の概要

1. 調査目的 保健福祉計画改定及び今後の高齢者施策のための基礎調査（ひとり暮らし、ねたきり、夫婦のみ世帯の出現率、介護予防の意識等の把握）
2. 調査対象 杉並区在住の60歳以上の区民から無作為抽出した5,100人
（男性2,550人、女性2,550人）
3. 調査方法 郵送配布、郵送回収
4. 調査期間 平成22年9月6日～9月30日
5. 回収結果 回収数（票）：3,564件（回収率69.9%） うち、自宅生活者3,393人

今後の就労意向

今後、適当な仕事があれば働きたいですか。現在お仕事をもちの方は、仕事を続けたいですか。

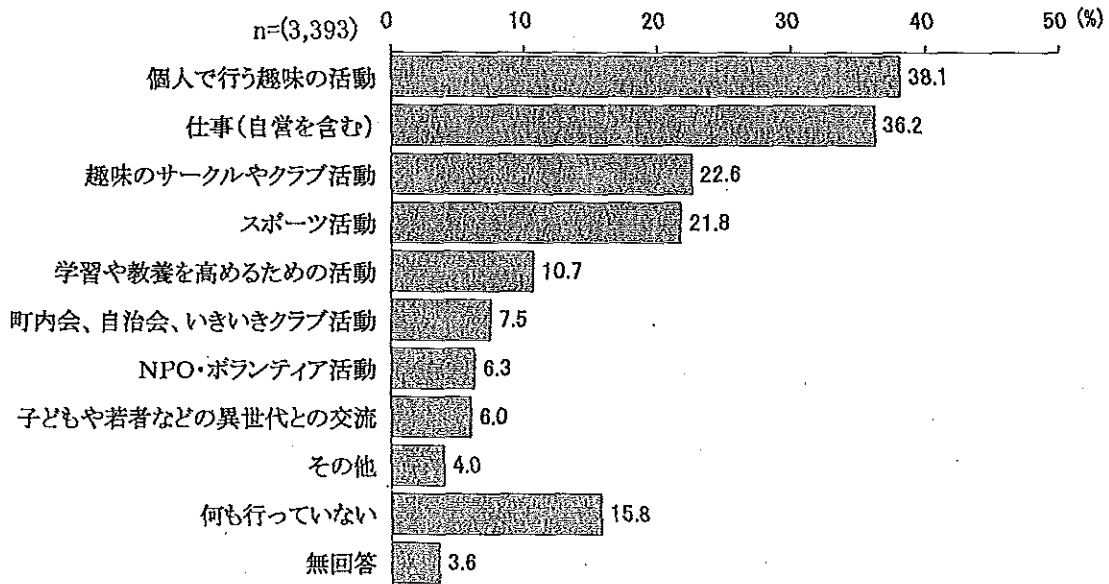


今後の就労意向は、「いいえ」(44.1%)、「はい」(38.7%)、「どちらともいえない」(12.9%)の順となっている。

性×年齢別で見ると、就労意向は、男性60～64歳で73.2%、女性の場合60～64歳で51.9%となっており、男性のほうが多い結果となった。

○ 現在、行っている活動

現在の活動は、「個人で行う趣味の活動」の割合が38.1%で最も多く、以下、「仕事（自営を含む）」（36.2%）、「趣味のサークルやクラブ活動」（22.6%）の順となっている。



○ 生きがいの有無

生活に生きがいを感じるかは、「感じている」（81.0%）、「感じていない」（16.6%）となっている。

